

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生物化学分析検査研究班 提出日：令和 6 年 5 月 7 日 報告者：森部 龍一

行事種別	研究会	行事番号	240000208
開催日	令和 6 年 4 月 6 日(土) ~ 19 日(金)		
時間	開始	-	終了 -
場所	Web 配信 (オンデマンド配信)		
テーマ	心腎関連		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司会	無し		
講師	1. 心不全と心腎関連 <div style="text-align: right;">グッドライフデザイン 佐藤 文明</div> 2. 改めて学ぶ腎機能の検査と評価 <div style="text-align: right;">刈谷豊田総合病院 神谷 美聡</div>		
内容	令和 6 年 4 月度生物化学分析検査研究班研究会では、心腎関連をテーマに、心臓と腎臓それぞれの側面から、その関係性や心機能・腎機能のデータの読み方について講演していただいた。 講演 1「心不全と心腎関連」では、心不全での入院患者数などの心不全の現状から、心不全の定義、進展ステージと治療目標、心不全マーカー、心臓からみた心腎関連について講演いただいた。 講演 2「改めて学ぶ腎機能の検査と評価」では腎臓の解剖や機能、産生されるホルモン、腎臓の異常を知るための検査、AKI や CKD の病態、腎臓からみた心腎関連について講演いただいた。		
参加者	総数：240 名 (会員 128 名、県外会員 111 名、非会員 0 名、賛助会員 1 名、学生 0 名、その他 0 名)・申込総数：364 名		
共催、後援など	無し		

2022.10.12

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：生物化学分析検査研究班 提出日：令和 6 年 7 月 12 日 報告者：森部 龍一

行事種別	研究会	行事番号	240002514	
開催日	令和 6 年 7 月 6 日(土)			
時間	開始	15:00	終了	17:00
場所	リップルスクエア			
テーマ	データから病態を考える			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	藤田医科大学病院 岡崎医療センター		田中 亜希 藤田医科大学病院 藤田 裕佳	
講師	1. データから病態を考える（当直編） 2. データから病態を考える（ルーチン編）		春日井市民病院 衛藤 麻理子 JA 愛知厚生連 海南病院 西野 悠紀	
内容	<p>令和 6 年 7 月度生物化学分析検査研究班研究会では、“データから病態を考える”をテーマに当直編とルーチン編に分け、講師の先生にはそれぞれ 3 症例ずつお話しいただいた。講演 1「当直編」では、当直時に遭遇しやすい事例について、結果がでる順番にデータを解説いただいた。症例は、「輸液の混入」「患者間違い」「熱中症」についてお話しいただいた。</p> <p>講演 2「ルーチン編」では、主に化学免疫の結果から、データを解説いただいた。症例は「糖尿病」「抗てんかん薬による Cl の偽高値」「バセドウ病」についてお話しいただいた。</p>			
参加者	総数：56 名（会員 56 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）・申込総数：60 名			
共催、後援など	無し			

2022.10.12

活動報告書

所属：生物化学分析検査研究班

提出日：令和7年1月12日

報告者：森部龍一

行事種別	講演会	行事番号	240013123	
開催日	令和6年12月7日(土)～20日(金)			
時間	開始	-	終了	-
場所・配信	オンデマンド ・ オンデマンド配信			
テーマ	血中薬物動態			
生涯教育履修点数	専門教科	20	点	
司会	無し			
講師	1. 血中薬物動態の基礎 豊橋市民病院 杉浦令奈 2. 血中薬物の検査項目について 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 三村文香 3. 免疫抑制剤の基礎とTDM ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 カスタマーフロント本部 第3統括 13FG フィールドサイエンティスト 金子 将ノ助			
内容	令和6年度12月講演会では血中薬物動態をテーマに、血中薬物動態の基礎から検査項目、免疫抑制剤の基礎について、講演いただいた。 講演1では、薬物が体内に投与されてから排泄されるまでの一連の流れを詳しく解説していただき、さらには血中薬物濃度のパラメーターや高齢者・小児の薬物動態に関する講演もいただいた。 講演2では、抗菌薬・抗てんかん薬・抗悪性腫瘍薬・気管支拡張剤・循環器薬・向精神薬など、検査技師がよく測定する血中薬物項目についてそれぞれ解説いただいた。 講演3では免疫抑制剤について免疫に関することから、薬の種類、作用機序、測定時の注意点などを詳しく解説いただいた。			
参加者	合計：189名(会員112名、県外会員75名、講師2名、実務委員0名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他0名) 事前参加申込数：322名			
共催、後援など	無し			

合計：現地開催(講師・実務委員・参加者)、
ライブ・オンデマンド配信(講師・実務委員・レポート提出者)

活動報告書

所属：生物化学分析検査研究班

提出日： 令和 7 年 3 月 6 日

報告者：森部龍一

行事種別	研究会	行事番号	240022459
開催日	令和 7 年 2 月 1 日 (土) ~14 日 (金)		
時間	開始	-	終了 -
場所・配信	オンデマンド ・ オンデマンド配信		
テーマ	令和 6 年度愛臨技精度管理調査報告		
生涯教育履修点数	基礎教科	20	点
司会	無し		
講師	1. 臨床化学検査部門 藤田医科大学病院 岡崎医療センター 田中亜希 グッドライフデザイン 小栗美里 2. 免疫血清検査部門 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 伊藤綾香 3. HbA1c 検査～その臨床的意義と注意点～ 東ソー株式会社 名古屋支店 バイオサイエンス G 尾花昭平		
内容	令和 6 年度愛臨技精度管理調査における、臨床化学検査部門および免疫血清部門の精度管理調査報告を行った。各部門より本年度の傾向についてお話しいただいた。 臨床化学検査部門では、全項目について CV (%) など例年と比べて同水準であり、昨年と比べて JCCLS 共用基準範囲の採用施設の増加を認めた旨の報告があった。 免疫血清検査部門では、感染症項目において、概ね A 評価であったが、HIV にて評価対象外があったこと、腫瘍マーカー・ホルモン項目において、C・D 評価施設の割合が昨年より多かったことなどが報告された。 講演 3 では、糖尿病診断における HbA1c、HbA1c の測定原理とその特徴、HbA1c 測定における精度管理と測定における注意点について解説いただいた。		
参加者	合計：157 名 (会員 81 名、県外会員 66 名、講師 4 名、実務委員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 6 名、学生 0 名、その他 0 名) 事前参加申込数：222 名		
共催、後援など	無し		

合計：現地開催 (講師・実務委員・参加者)、
ライブ・オンデマンド配信 (講師・実務委員・レポート提出者)